

「市民提案型まちづくり活動支援交付金」の審査結果について

1. 一般枠（課題設定型・自由提案型）

課題設定型事業：市が設定したテーマに基づき、市民団体が提案実施する事業

自由提案型事業：市民が課題とする社会的、地域的な課題を解決するために実施する事業

（交付決定状況） 22 団体

	課題設定型	自由提案型	計
交付決定件数	3 件 課題は 3 件とも 「高齢化地域の活性化」	19 件	22 件
（ほか調整中件数）	（0 件）	（4 件）	（4 件）
事業費	721,720 円	4,892,800 円	5,614,520 円
交付決定額	600,000 円	3,679,000 円	4,279,000 円

5 月 29 日の審査委員会で採択となった事業について、各団体に 6 月 1 日付けで交付決定を行い、一部の事業は審査委員会での意見を伝え、事業内容へ反映されたことを受けて再審査を行う。

2. 学生提案枠

（対象団体の条件）

市内に拠点を置く学校の学生等により組織された団体、もしくは※南丹市と協定を締結した大学の学生等により組織された団体で、南丹市内にて活動する NPO 法人、企業、ならびに地域等と連携して実施する団体

※南丹市と協定を締結している南丹市外の大学（平成 29 年 6 月 30 日現在）

- ・佛教大学 ・京都府立大学 ・明治国際医療大学 ・二本松学院
- ・同志社大学（政策学部・大学院総合政策科学研究科）

（申請状況） 3 団体

大学名	申請件数	事業費	交付決定予定額
佛教大学	2 件	253,800 円	200,000 円
明治国際医療大学	1 件	100,000 円	100,000 円
伝統工芸大	1 件	250,000 円	100,000 円
合計	4 件	603,800 円	400,000 円

(事業内容)

・佛教大学

「映像レポートによる南丹市の魅力発信及び、映像レポートのアーカイブ化事業」は、過去に行われたアンケートから若者が流出する原因として、地元「志望する企業がない」意見に着目。若い世代に南丹市の企業で働く魅力を伝えることが定住促進に必要であると考え、南丹市の企業で働く魅力を伝えるための映像を作成し、ケーブルテレビのほか、YOUTUBEでの発信を計画。

「美山町活性化プロジェクト」は、地域発展に対する若者の重要性に着目。地域の若者減少を補うためにも、若者の観光客を中心とした交流人口の増加が必要だと考えた。

京都の中心地から離れていることや、かやぶきの里以外の観光ポイントの情報が若者に届きづらいことから、美山町の魅力をもっと発信することが必要であるとの結論に至り、京都の中心地から美山町までの経路を「車」「公共交通機関」などで移動しながら、道中を撮影する「タイムラプス」(※)撮影した動画を作成し、若い世代を中心に、南丹市(美山町)の魅力を YOUTUBE で発信する計画。

(※) デジタルカメラを用いて連続したスチール画像を撮影し、それを素材として作った動画のこと。インターバル動画ともいう。一定間隔で連続撮影した静止画を、パソコンのソフト上で組み合わせることにより動画を作る。長時間の事象の変化を短時間で表現できることが特徴。

・伝統工芸大学校

「TASK22 期コラボ企画」は、「ものづくりのまち南丹」のフレーズどおり、ものづくりが盛んである一方で、伝統工芸に対し無関心な方が多くなっている現状に着目。

伝統工芸に対する心のハードルを下げて、普段の生活の中に伝統工芸を組み入れる、ライフスタイルを発信するため、学内 11 専攻中の 9 専攻のコラボにより、その利用シーンがイメージでき伝統工芸を身近に感じてもらえるような展示会を開催。展示会では生活が想像できるようなディスプレイにこだわり、4 種類のカフェシーンを演出し伝統工芸に関心を持つ人を増やす。

・明治国際医療大学

「地域スポーツ振興プロジェクト～地元開催のトライアスロン大会でのトレーナー活動支援～」は、2020 年東京オリンピックの開催により、国内でスポーツの気運が高まるなか、同大学では、スポーツの分野で活躍できる医療人の育成に取り組まれている。これらの取り組みを地域のスポーツ活動に還元することで、南丹地域の活性化に繋げるため、トライアスロン大会の場内に、出場選手のコンディショニング調整のサポートを教員指導の下で学生ボランティアが行うスポーツケアブースを設置される。